



大谷場東

教育目標

かしこく なかよく たくましく かがやく子の育成

- ◆発行：さいたま市立大谷場東小学校
- ◆住所：336-0016 さいたま市南区大谷場2丁目13番54号
- ◆電話：048-882-4618：FAX：048-811-1327
- ◆URL：<https://oyabahigashi-e.saitama-cty.ed.jp/index.html>

光の春

校長 花房 秀史

今年は2月2日が節分、そして3日が立春となります。立春とは「二十四節季」の1つで「春のはじまり」をあらわします。2月の節分は「立春の前日」と定められており、立春は地球の公転周期と暦年とのズレを補正するため、年によって変わることがあります。そのため、2月2日や2月4日になる場合もあるそうです。

立春と聞くとすぐにも暖かくなってくるような気がします。実際には、まだまだ寒い日が続きます。けれども、日の出の時刻は早くなり、日の入りの時刻は遅くなっていき、太陽の出ている時間（日脚）が毎日2分くらいずつ長くなっていきます。また、太陽の角度も少しずつ高くなり、日差しが強くなってきます。朝の登校指導をしても、日の当たる場所と時間の変化を感じ、気温はまだ低いですが、光を浴びることで春の訪れを感じられるようになってきました。私はこの時期になると毎年ロシアの言葉を思い出します。ロシアでは、2月のことを「光の春」と言うそうです。長く寒い冬に耐え、春を心待ちにしている国の人々ならでの、素敵な表現だと思います。春は光からやってくるとも言えます。

そして、この頃になると冬の寒さにも負けずに力強く芽を出し、花を咲かせ、春を告げる植物が出てきます。2月になるとオオイヌフグリの青い小さな花を見付けたり、フキノトウの芽に気付いたりするようになります。大谷場東小学校でも樹木はまだ何の変化もないように見えますが、よく見てみると、枝先にはたくさんの木の芽が付いています。変わらないように見える樹木も、しっかりと張った根から水分や養分を吸い上げ、幹から枝々に送り、花を咲かせたり、葉を芽吹かせたりする準備を怠りなく進めています。

子どもたちにとっても、この2月は、ちょうどそうした時期です。1年生から5年生は進級に向けて、6年生は卒業・進学に向けて、それぞれの学年の仕上げをして次の学年に進む準備をする時です。勉強や運動はもちろん、友達との関わり方なども振り返り、頑張ってきたことやできるようになったことを確かめ、得意なことはさらに伸ばし、そして苦手なことは少しでも克服できるように、最後まで毎日の学習や生活に真剣に取り組み、しっかり力を付けてもらいたいと思います。今月は今年度最後の授業参観・懇談会があります。がんばっているお子さんの姿をぜひ見ていただき、褒めて励ましてあげてください。

最後に、インフルエンザ等の感染症は少なくはなりましたがまだ心配です。1年の総まとめの時期を元気で充実した時間にするためにも、学校では手洗い・うがい、換気や加湿等の感染防止対策を徹底していきます。もう少しの間、寒さはありますが、学校・家庭・地域が協力して光の春に向けて準備をしていきましょう。